



# 新春を迎えて

## 力を結集し配管工事業界のイメージアップを



関西配管工事業協同組合  
理事長 庄司 真之

旧年中は当組合の諸活動に何かとご指導、ご鞭撻を賜り有り難うございました。本年も変わりませず、宜しくお願い申し上げます。

昨年2021年は、一昨年2020年同様 新型コロナウイルスの猛威に翻弄された大変な年となってしまいました。2020年1月下旬に中国の春節休暇で、多くの中国人が来日した辺りから感染が広がりだし、あっという間に日本国中に感染が広がりました。第1波～第5波と次々と感染者数が増えていきました。

そのたびに、緊急事態宣言が発令され、都合4回を数えました。

緊急事態宣言などが発令されてない日の方が少ないような2年間だったように思います。「東京オリンピック・パラリンピック」も1年間延期となり、昨年8月～9月に何とか無理やり開催したような有様です。国を挙げての世紀の祭典どころか、オリンピックが日本経済の足枷のような状況になってしまいました。

経済活動は完全にマヒをしてしまい、日本経済はリーマンショックをしのぐ戦後最大の落込みとなりました。私が生きている間にこのような事が起こるとは思ってもみませんでした。

一方、世界では新たなオミクロン型変異株により、感染者数が急拡大しております。引き続きマスク・手洗い・うがいをこまめに行い、感染しないようお互い注意しましょう。

当組合は、設立以来「技能の伝承と若手技能工

の育成」を主目標に活動を続けてまいりましたが、この2年間はコロナの影響で、あらゆる活動が制限され、十分な活動ができませんでした。しかしながら、コロナに負けてはいられません。引き続き「若手技能工の育成・教育」を柱に活動を続ける所存ですので、更なるご指導、ご協力をお願いいたします。

現在の建設業界最大の課題は職人不足です。特に若手の職人不足です。若い人が「夢と希望」を持って働ける配管業界に変えること。親御さんが自分の子供を働かせたいと思う業界にすることが組合の目標であり、私の目標です。

今後、落ち込んだ経済がどれだけ回復するのか非常に気になるところですが、幸い、大阪では「2025年大阪・関西万博」の開催に向けての様々なプロジェクトが動き始め、仕事量が増加すると考えられます。このことはわれわれにとりましては「希望の光」です。

コロナの影響で、先の読めない、非常に不安定な社会情勢ですが、当組合は組合員一同力を合わせ、関係各位のお力をお借りし、配管工事業界のイメージアップを計り、若い人や女性の入職者を増やす活動をしてまいります。

現場で汗する配管工が誇りを持って、一生を通して働くことができる、魅力ある業界づくりに邁進いたします。関係各位の更なるご指導、ご協力をお願い申し上げます。

# 組合員・賛助会員合同懇談会開催



左上は挨拶する庄司理事長



昨年12月7日に大阪市北区のグラン・アーモで組合員・賛助会員合同懇談会・懇親会を開催しました。

12回目の今回は組合員、賛助会員合わせて38名が出席。冒頭挨拶で庄司真之理事長は「今年もコロナウイルスに翻弄され、当組合も感染防止の観点から組合活動を自粛していたが、ようやく2年ぶりに合同懇談会が開催できた。組合活動は皆さんの協力で成り立っている。この機会にできるだけ多くのご意見をいただきたい」と述べ

ました。

懇談会は小阪武司副理事長の司会進行のもと、「材料高騰」や「物件の確保」などの現状報告が行われました。質疑応答では「人材育成と定着率」の問題について「人事部がカリキュラムを組んでいる」「社内では呼び捨てにしない」「若い人に気を使わない」などに取り組んでいることが報告されました。

このほか、組合員、賛助

会員から現状認識、先行き予想をはじめ様々な見方や意見が出されるなど白熱した情報交換が繰り返されました。



情報交換の後、懇親会を開催



# レッキス工業で技術研修実施

## 手動ねじ切り実習と正しいねじ加工学ぶ



昨年11月27日に大阪府東大阪市のレッキス工業本社工場で技術研修を実施し、受講者は1級配管技能士検定に向けた手動ねじ切りの実習やレッキス工業製品の特徴と正しいねじ加工法などを学びました。

開会挨拶で庄司真之理事長は「本日は今年の4月から半年間にわたり実施した令和3年度1級配管技能士講習修了者を中心に約40名参加していただいている。貴重な機会なので有意義な研修にして

もらいたい」と激励しました。

研修は、今年度の技能検定に備えて12月開催の組合主催・受検事前講習（南大阪高等職業技術専門学校）の予習を兼ねて行われ、手動ねじ切りの実習と併せ、レッキス工業による融着工具製品紹介と施工方法、正しいねじ加工法の座学・実演が行われました。

受講者は2班に分かれ、技能検定に必須のパイプの手動ねじ切りについてレッキス工業の担当者からレクチャーを受けながら実技に

臨んだほか、同工場に隣接する「レッキスミュージアム」でパイプマシンをはじめ、各種配管機器の歴史を学びました。

この研修は毎回、レッキス工業の全面的なバックアップにより実施されており、今回で22回を数えます。この日も土曜休業日にかかわらず同社幹部・技術スタッフが出動して研修をサポートしていただきました。



レッキス工業による製品研修



レッキスミュージアム見学

# 近畿地区で登録配管基幹技能者講習実施

令和3年度の登録配管基幹技能者講習の皮切りとして近畿地区講習が昨年12月9日～11日の3日間、大阪府立労働センターで実施され、九州などからの参加者を含め43名が受講しました。

同制度は、当組合の上部団体である日本配管工事業団体連合会（日管連）と、日本空調衛生工事業協会（日空衛）、全国管工事業協同組合連合会（全管連）の3団体が国土交通大臣から登録講習実施機関に認定されて実施しているものです。

登録配管基幹技能者は、熟達した作業能力と豊富な知識を有する



受講者を激励する庄司理事長

とともに、現場をまとめ、効率的に作業を進めるためのマネジメント能力に優れた技能者で、いわゆる上級職長として元請の計画・管理業務に参画、補佐することが期待されています。

近畿地区講習では当組合から庄司真之理事長、小阪武司副理事長、中野広造理事、原田武士氏

（青年部教育訓練担当）が講師として参加し、支援、協力しました。庄司理事長（日管連副会長）は講義に先立ち、受講者に期待の言葉を贈って激励しました。当組合講師は「OJTとその進め方」「ケーススタディ」「OJTの実践方法」「OJTの実践演習」

について講義しました。

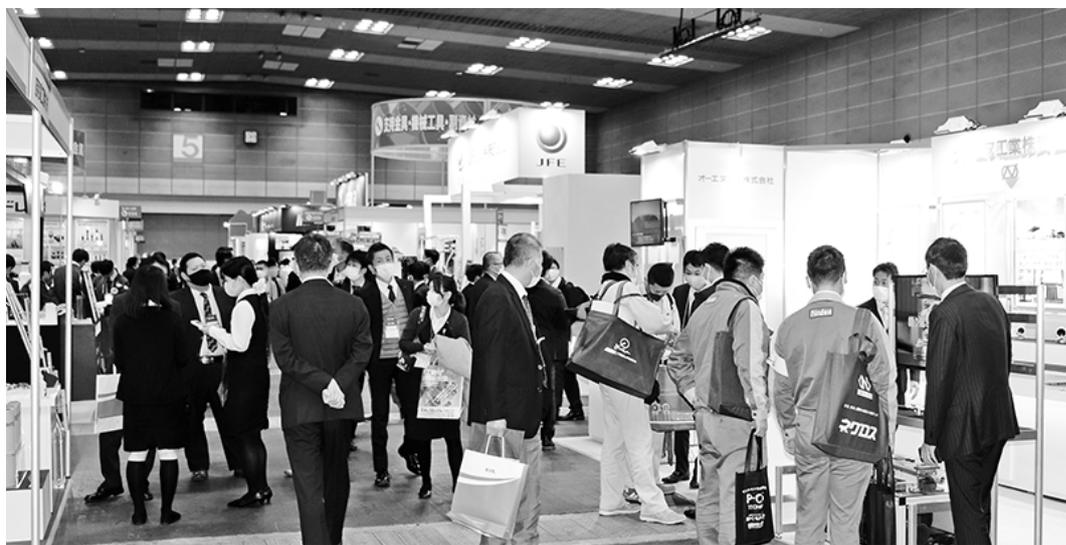
講習会考査試験の結果、43名（受講者42名、再受験者1名）が合格となりました。合格者に対して新たに「登録配管基幹技能者講習修了証」が4月下旬までに交付される予定です。

令和3年度の講習はこのあと、後期講習として関東地区（2月3～5日、東京都小平市）と中部地区（2月21～23日、名古屋市）で実施されます。



# 大阪管材展に多数の賛助会員出展

## 当組合ブースでは幅広く業界PR



関西地区管材業界の一大イベント「第20回管工機材・設備総合展 OSAKA 2021」（大阪管材展、大阪管工機材商業協同組合主催）が昨年12月2～4日の3日間、大阪・南港のインテックス大阪4・5号館で盛大に開催され、後援団体として参画している当組合からは17社の賛助会員が出展し、それぞれ最新鋭の技術、製品をアピールしたほか、組合もブースを設営し、組合活動などをPRして業界の地位向上に努めました。

同展は今回、新型コロナウイルス感染拡大を考慮し、当初予定していた9月開催が延期となり、集

客への影響が懸念されましたが、北海道や九州地方など遠方からも情報収集に訪れ、3日間で計1万405人の来場者で賑わいました。

会場はインテックス大阪4・5号館の両館を使用し、メインテーマに「新時代の流体テクノロジー」、サブテーマに「打ちましょ関西、もうひとつせ管材、祝うて三度20回」が掲げられ、会場も来場者と出品者の安全・安心を最優先に万全の感染症対策を実施して開催され、158社・団体（308小間）が最新技術と新鋭製品を紹介しました。

当組合ブースでは、組合役員、

事務局員、青年部会員が当番制で詰めて来場者対応に当たりました。組合の概要や事業活動紹介と併せ、作業服など組合斡旋品も紹介し、組合・業界の存在を幅広い層にPRしました。

出展された当組合の賛助会員は次の各社です。

▽アカギ▽アサダ▽安藤▽オーエヌ工業▽岡崎産業▽MCCコーポレーション▽カクダイ▽シーケー金属▽昭和コーポレーション▽積水化学工業▽ゼンシン▽ガイドレ▽多久製作所▽東尾メック▽ペン▽リケン▽レッキス工業



テープカットに臨む庄司理事長（前列中央）



当組合ブースでは来場者と活発な交流を展開



アサギ



岡崎産業



アサタ



カクダイ



安藤



シーケー金属



オーエヌ工業



昭和コーポレーション



積水化学工業



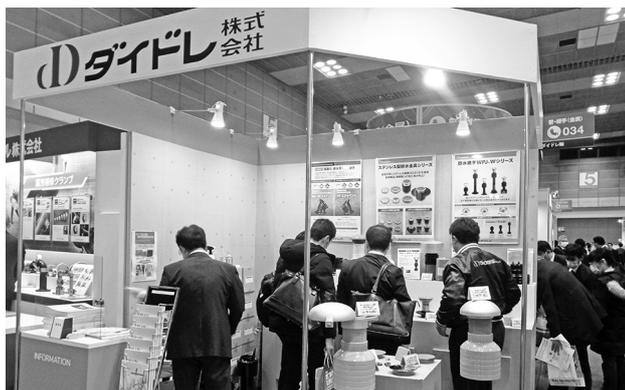
会場



ゼンシン



MCCコーポレーション



ダイドレ



ヴェニ



多久製作所



リケン



東尾メック



レックス工業

# 理事会 議事要旨

## 【令和3年9月】

- ①大空衛主催の第35回4団体協議会出席報告
- ②日管連令和3年度(第16回)定時総会終了報告
- ③令和3年度「登録配管基幹技能者講習」の開催案内書送付報告
- ④第22回技術研修会開催日程と実施要領作成について
- ⑤第20回管工機材・設備総合展 OSAKA2021の開催期間の延期と、小間割決定報告と役員・青年部会当番表の確認
- ⑥その他  
▽定例理事会、組合員・賛助会員合同懇談会開催日の変更

## 【令和3年10月】

- ①庄司真之理事長大阪府知事表彰受賞報告
- ②令和3年度認定職業訓練配管科1級技能士コース修了報告(実施計画どおり、申込者34名中32名が修了)
- ③職員新規採用について
- ④新規組合員の組合加入申込み可否について
- ⑤令和3年技能検定1級配管受検対策実技講習開催要領作成について
- ⑥第12回組合員・賛助会員合同懇談会開催検討

## ⑦その他

▽第20回管工機材・設備総合展の会場変更

## 【令和3年11月】

- ①日管連理事会出席報告(当組合からは日管連役員3名・庄司理事長、玉川・小阪両副理事長が出席)
- ②令和3年度日管連全国青年部会部会長交流会出席報告(10月22日、福岡市で全国各地の部会長7名が出席して開催)
- ③令和4年度認定職業訓練配管科1級技能士コース実施計画作成について
- ④第20回管工機材・設備総合展延期日程と開催号館変更に伴う、小間番号決定報告と役員・青年部会当番表の再確認
- ⑤第12回組合員・賛助会員合同懇談会・忘年懇親会の開催要領作成
- ⑥令和4年新年賀詞交歓会開催要領作成

## 【令和3年12月】

- ①第22回技術研修会修了報告(レックス工業(株)本社・東花園工場で実施され、22社・31名が出席)
- ②大空衛主催の第36回4団体協議

会出席報告(建設キャリアアップシステム〈CCUS〉)と建設業に従事する女性の就労環境等について協議

- ③第12回組合員・賛助会員合同懇談会・忘年懇親会運営順序の打合わせ

## 【新組合員】

### (株)心(いっしん)

代表者 後藤 雄樹氏

〒599-8264

堺市中区小阪西町6番30号

TEL.072-284-7969

FAX.072-284-7869

(令和3年10月1日加入)

## 新年賀詞交歓会中止しました

### コロナ禍でやむなく2年連続中止

令和4年1月25日に開催を予定しておりました新春の新年賀詞交歓会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止及び、参加される皆様の健康と安全確保を考慮し、急遽ではありますが、開催を中止することとしました。

新年賀詞交歓会は、組合員と賛助会員各位が一堂に会して、情報交換の場として活用されてきましたが、今般の新型コロナウイルス感染急拡大の影響により、やむを得ず中止させていただきました。

(令和4年1月14日に中止決定)

# 1級配管技能士の受検対策講習実施

## 2日間みっちり実技講習



講習会場の南大阪高等職業技術専門学校

令和3年度の1級配管技能士検定へ向けた受検対策として昨年12月11・12の両日、大阪府和泉市テクノステージの大阪府立南大阪高等職業技術専門学校で実技講習を行いました。

講習は、本格的な実技講習で、当組合役員や熟練技能者が指導員となり、両日とも午前9時から午後4時半まで昼食をはさんでみっちり行われました。1級配管技能士の受検予定者34名が出席し、銅管、塩ビ管、銅管の切断や管継手との接続など受検本番さながらの講習に取り組みました。

初日の午前中は、オリエンテーションに続き、「材料の拾い出し・ペーパーテスト」の講習（座学）が行われ、最後に配管図から材料を拾い出して材料表を作成する練習問題試験が実施されました。

午後の実技講習では、玉川義光副理事長が受検に向けての心構えや実技の要項を説明したあと、指導員が銅管の手動ねじ切りと銅管溶接の模範実技を行い、それぞれの作業の要点などを実技で指導しました。引き続き、実技講習に移り、指導員が受講者の間を細かく巡って配管作業の指導に当たる

中、受講者は切断、接合・接着、配管組立などで作業試験の課題作品づくりに取り組みました。

2日目の午前中は、前日の材料取り練習問題試験で及第点に達しない受講者は補講を受け、あとの受講者は前日の反省を交えて実技講習を受けました。午後は受検本番と同じ時間で課題作品づくりに挑戦。受講者は3時間30分かけての模擬検定作品の製作に懸命に取り組んで完成させ、指導員から寸法採点、水圧テストを受けて反省点を洗い出し、受検本番に備えました。



材料拾い出しのペーパーテスト



講習に先立ち実技要項の説明



鋼管ねじ切りの事前講習



鋼管溶接の模範実技

## 技能向上へほとばしる熱意



# 大阪で1級配管技能士技能検定

1月29、30日に東大阪市の府立東大阪高等職業技術専門校で令和3年度後期・大阪地区の1級配管技能士の「作業試験」が行われ、

当組合所属企業の技能者30名を交えて多くの技能者が受検に臨んだ。23日に学科試験(大阪市)、29日、30日に作業試験が行われた。

受検者は、これまで現場で培った技能と当組合が昨年4～9月の半年間実施した認定職業訓練講座や昨年12月に開催した受検対策実技講習などで修得した知識・腕を生かして受検に臨んだ。合格者は3月11日に発表される予定。



## ニュースファイル

### ＝ 国交省 ＝

#### 建設業の人材確保・育成へ取り組み強化

国土交通省は、建設業の人材確保・育成取り組みへ向けた令和4年度予算案をとりまとめました。厚生労働省と連携して関係施策を実施し、建設業の人材確保・育成へ一段と強化する姿勢を打ち出しています。

建設業の技能者の約3分の1は55歳以上となっており、他産業と比べて高齢化が進行しています。建設業が引き続き「地域の守り手」として役割を果たしていくためには、将来の建設業を支える担い手の確保が急務となっています。

同省は、特に若者や女性の建設業への入職や定着の促進などに重点を置きつつ、働き方改革を更に促進し、魅力ある職場環境を整

備することにより、中長期的に人材確保・育成を進めていくことが重要としています。

建設業の人材確保・育成に向けての4年度予算案概要のポイントは次の通り。

【人材確保（建設業への入職や定着を促すため、建設業の魅力の向上やきめ細かな取り組みの実施）】▽建設キャリアアップシステム普及・活用などを通じた建設技能者の処遇改善＝1億8100万円▽建設事業主などに対する助成金による支援＝68億4000万円

【人材育成（若年技能者などの育成の環境整備）】▽地域建設産業の生産性向上及び持続性の確保＝1100万円▽中小建設事業主などへの支援（建設労働者育成支援事業など）＝5億2000万円

【魅力ある職場づくり（技能者の処遇を改善し、安心して働ける

ための環境整備）】▽建設産業の働き方改革の実現＝1億3500万円▽建設業許可などの電子申請化に向けた環境整備＝3億円▽働き方改革推進支援助成金による支援＝66億円▽働き方改革推進支援センターによる支援＝43億8000万円。

### 20年度の空衛設備売上ダウン — コロナ禍で工事先送り —

矢野経済研究所が国内の主要な空調衛生設備工事業にアンケート調査を実施した結果、20年度の工事売上高は1兆2197億円、前年度比13.1%の減少となりました。

空衛設備工事業92社にアンケートを実施し、71社から有効回答を得て分析したもので、コロナ禍を背景に再開発案件や小規模工事の先送りなどが影響したとしています。

特に宿泊施設などインバウンド

(訪日外国人客) 関連施設の案件や一般消費者が頻繁に出入りする飲食店、小売店などからの受注はコロナ禍の影響を大きく受けたといます。繰り返される緊急事態宣言に伴う店舗営業の自粛の影響による施工延期など21年度の受注環境はさらに悪化しており、今後の動向についても不透感が残るとみえています。

また、コロナ禍により空衛設備工事の人手不足問題は一時的に緩和しているものの、高齢化・人口減少などを背景に根本的な解決には至っておらず、労務費は高止まり状態にあるとし、どの事業者にとっても人手不足は大きな課題となっており、人材育成の強化が図られているとしています。さらに、資材費の高騰も企業収益を圧迫し、同社では、収益性を確保するため、業務工程の省人化・省力化を進めていく必要があるとしています。

## 小企業の人手不足2年ぶり上昇

日本政策金融公庫が行った全国中小企業動向調査で小企業の2021年7～9月期の従業員過不足D I (現在の従業員数が最近の営業状況と比べて「不足」企業割合から「過剰」企業割合を引いた値)は前回調査(20年7～9月期)から35%上昇し、15.4となりました。上昇は2年ぶりです。

調査時期は9月中旬で、同公庫取引先7347企業から有効回答をえて分析したものです。業種別にみると、飲食店・宿泊業、建設業を除く全ての業種でD Iが上昇しました。「不足」割合は情報通信業が54%と最も高く、次いで建設

業の49%、運輸業の47%の順となっています。

人手不足の影響についてみると、「人手が足りず、需要の増加に対応できない」と回答した企業割合が40%と最も高く、次いで「人手を確保するために賃金を上げている」が33%となっています。

人手不足への対応についてみると、「仕事のプロセス(段取り)の効率化」「従業員の多能化・兼任化」「仕事(受注量)の絞り込み」と回答した企業の割合が低下する一方、「増員(パート・アルバイトを含む)」「賃金の引き上げ」「仕事の機械化・IT化」「残業の増加」は上昇しました。

従業員の給与水準D I(1年前と比べて「上昇」企業割合から「低下」企業割合を引いた値)は前回調査から4%上昇しました。給与水準が上昇した企業割合を従業員規模別にみると、規模が大きいほど高くなっています。

## 21年上半期

### 入職者が離職者上回る —「建設業」は漸減傾向—

厚生労働省の雇用労働調査の結果、2021年上半期(1月～6月)の入職者数は444万4900人、離職者数は416万7800人で、入職者数が離職者数を27万7100人上回りました。

就業形態別にみると、一般労働者は入職者263万3400人、離職者232万3700人で、入職者が離職者を30万9700人上回っています。

「建設業」の入職者は17万9500人、離職者は13万9500人で入職者

が4万人上回りました。ただ、前年同期と比べると、入職者が8.4%減少し、離職者が6.6%増加するなど漸減傾向を示しています。また、「電気・ガス・熱供給・水道業」の入職者は1万7300人、離職者は1万6600人で入職者がわずかに上回りました。

## 今年度の近畿圏マンション発売 コロナ禍の水準回復も高値続く —来年度は減速予想—

不動産経済研究所がまとめた近畿圏(2府4県)の2021年のマンション発売戸数は1万8951戸、前年度比24.7%増と大幅に増加し、コロナ禍前の19年度(1万8042戸)の水準に戻りました。

大阪市部は6525戸で10%増、同市を除く大阪府下は3901戸で23%増、兵庫県は5251戸で54%増、京都府は2109戸で52%増、滋賀県は848戸で40%増となり、戸数の少ない奈良、和歌山両県は減少しました。

一方、1戸当たりの平均価格は4562万円で前年度から9.1%(381万円)上昇し、1991年(5552万円)以来の高値となり、4年連続のアップとなりました。また、1平方メートル当たりの単価は75.1万円で8.7%(6万円)上昇し、9年連続のアップで1973年の調査開始以来の最高値となりました。

同社は、近畿圏の22年マンション供給は前年度比2.2%増の1万8500戸と予測しています。いぜん続く価格の上昇の影響により、大幅な減速するとみえています。大阪市部と大阪府下は増加、神戸市部と京都市部は大

## 当組合の庄司理事長 大阪府知事表彰受賞

大阪府中小企業団体中央会の開催担当により昨年9月に第63回中小企業団体大阪大会が開催され、当組合理事長の庄司真之氏が業界・組合功労者として大阪府知事表彰を受賞しました。

今大会は、新型コロナウイルス感染拡大を防止する観点から基調講演者と一部役員及び事務局のみの会場参加とし、会員にはライブ配信という形式での開催となりました。

また、表彰式も中止となり、後日、庄司氏に表彰状と記念品が贈られました。



### 事業主の皆さん、 労働保険に入っていますか？

労働者を1人でも雇っている事業主は労働保険に加入する義務があります。労働保険とは「労災保険」と「雇用保険」を総称したも

ので、労働者を1人でも雇用されている事業主の方は、労働保険に必ず加入しなければなりません。

お問い合わせ先

◇労災保険制度については

労働基準監督署へ

◇雇用保険制度については

ハローワーク（公共職業安定所）へ

【労働保険事務委託団体・労働保険事務組合】

関西配管工事業協同組合

【労災保険・特別加入団体】

関西配管工事業協同組合・一人親方組合

働くみんなに、  
大きな安心。

中退共は、半世紀で100万社以上の中小企業にご利用いただいている国の退職金制度です。

# 中退共 中小企業退職金共済制度

安全

国の制度だから安心  
新規加入や掛金を増額する場合、  
掛金の一部を国が助成します。

有利

掛金は全額非課税  
手数料もかかりません。

簡単

社外積立で管理も簡単  
納付状況や退職金試算額を  
事業主さんにお知らせします。



詳しくはホームページをご覧ください。

中退共

検索



(独)勤労者退職金共済機構  
中小企業退職金共済事業本部

〒170-8055 東京都豊島区東池袋1-24-1  
TEL.03-6907-1234 FAX.03-5955-8211